

様式第6号(第5条関係)



令和4年4月26日

宇佐市議会議長 衛藤 博幸 様

会 派 名 光りの会
経 理 責 任 者 名 辛島 光司



政務活動費収支報告について

宇佐市議会政務活動費の交付に関する条例第7条に基づき、別紙のとおり、令和3年度政務活動費収支報告書を提出します。

活動実績書

会派名 光りの会

令和3年度における政務調査活動の実績は、次のとおりである。

1. 各種団体が実施する研修会に積極的に参加し、広く知見を深めた。
2. 政策課題の研究に努め、下水汚泥を「超高温好気性発酵技術」により肥料化し、農業分野で還元する地球環境を考えたSDGsの取り組みに関する視察研修を行った。
3. 市政報告並びに住民との意見交換会
4. 活動報告新聞を作成し、市政の状況、議会の内容、議員の活動について広く市民に広報を行った。

※ 収支報告書に添付

令和3年度政務活動費収支報告書

宇佐市議会議長 衛藤 博幸 様

会派名 光りの会

1 収 入
政務活動費 240,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費	13,920	
研 修 費	3,550	
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資料作成費	214,115	
資料購入費		
人 件 費		
事 務 所 費		
計	231,585	

3 残 額 8,415 円

※ 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。
活動実績書を添付すること。

行政視察「佐賀市循環型農業について」の政務活動費

①JTB 求道会	109,040 円	
②JTB 光りの会	4,760 円	(JR 加布里駅までの片道運賃)
③燃料費	9,666 円	
④通行料 (3/27 分)	3,220 円	
⑤通行料 (3/28 分)	5,000 円	
⑥土産代 (佐賀市)	2,399 円	※清麿饅頭
⑦土産代 (共和化工)	3,201 円	※西の星

合 計 1 3 7 , 2 8 6 円

政務活動費 求道会・光りの会の按分計算について

令和元年 9 月議会の全員協議会より、按分時の小数点以下は切り捨て。

【レンタカー借上げ代】

①より、宿泊費 (@10,000 円×4 名分) の 40,000 円と、和気議員の JR 運賃の 4,760 円を引いた差額の 64,280 円がレンタカー及び旅行取扱手数料 (※レンタカーは翌日返却のため、3 日間の料金。保険代含む) よって、2 日間でのべ 10 名が利用したため、1 名の 1 日当たりの料金は 6,428 円。

【燃料費】 ※1 名の 1 日当たりの燃料費

9,666 円÷10 名 (延べ利用数) ≒ 966 円

【通行料】

3/27 分 3,220 円 ÷ 4 名分 = 805 円

3/28 分 5,000 円 ÷ 6 名分 ≒ 833 円

【JR 等運賃】 ※JR 宇佐駅～JR 加布里駅

JTB からの請求額 4,760 円 (一人当たり)

【土産代】

(⑥ + ⑦) ÷ 6 名分 = 933 円

【光りの会・調査研究費の合計額】

6,428 円 + 966 円 + 833 円 + 4760 円 + 933 円 = 13,920 円

様式第7号（第6条関係）

支払証明書1

支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費
支出内容	土産代
支出年月日	令和4年3月26日・27日
支出先	(株) トキハイндストリー、(有) 時枝酒店
支出金額	933 円
備考	説明資料より。領収書は求道会に添付。

上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。

令和4年 4月29 日

会 派 名 光りの会
 代 表 者 名 辛島光司



※ 証拠となるものを裏面に貼付すること。

支払証明書2

支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費
支出内容	高速道路料金・有料道路代
支出年月日	令和4年3月27日・28日
支出先	NEXCO 西日本・福岡北九州高速道路公社・福岡県道路公社
支出金額	833 円
備考	説明資料より。領収書は求道会に添付。

上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。

令和4年 4月29日

会 派 名 光りの会
 代 表 者 名 幸島光司



※ 証拠となるものを裏面に貼付すること。

支払証明書3

支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務所費
支出内容	レンタカー借上げ料	
支出年月日	令和4年3月28日	
支出先	JTB SS ツーリスト	
支出金額	6,428 円	
備考	説明資料1より。領収書は求道会に添付	

上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。

令和 4 年 4 月 29 日

会 派 名 光りの会
 代 表 者 名 辛島 光司



※ 証拠となるものを裏面に貼付すること。

支払証明書4

支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費
支出内容	燃料代
支出年月日	令和4年3月29日
支出先	(株) ホームセンターセブン 宇佐SS
支出金額	966円
備考	説明資料1より。領収書は求道会に添付

上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。

令和4年 4月29日

会 派 名 光りの会
 代 表 者 名 幸島光司



※ 証拠となるものを裏面に貼付すること。

行政視察報告書

会派名 求道会・光りの会

1 視察者氏名

浜永義機	辛島光司	井本裕明
和氣伸哉	川谷光紹	吉田泰秀

2 視察期間 令和4年3月27日～令和4年3月28日

3 視察日、視察先、視察事項、選定理由及び視察結果

視察日	3月28日（月曜日）	視察先	福岡県糸島市 和響エコファーム
【視察事項】 下水処理施設の汚泥から「超高温好気性発酵技術」を用いて生産した有機質肥料を使った、花卉栽培・いちご栽培の現地視察		【選定理由】（市政との関連） 大分県水田農業高収益化推進計画のなかで、戦略作物のひとつであるイチゴは宇佐市でも生産が拡大している。有機質肥料の有効性や魅力を現地で確認するため。	
【視察結果】（視察で得た情報、考察、提言すべき事項等） 視察した共和化工では、下水処理施設で発生する汚泥を「超高温好気性発酵技術」を用いて肥料化し、農業で使用することで再び大地へと還元する地球環境を考えたSDGsの取り組みを行っている。 出来上がった肥料は農園で使用するだけでなく、家庭菜園やゴルフ場の芝にも使われている。生産された肥料を安くすることで、農園や個人に喜んでいただくだけでなく、生産量をすべて販売することで作られた肥料があまらないようにしていた。 視察した和響エコファームでは、佐賀市の下水処理施設で作られた肥料だけで農産物が生産されており、生産された農産物は、近隣の道の駅等で販売されていた。農家が肥料を使うに当たっては、虫・病気への対策や、味覚・大きさなどが重要視される。虫・病気に関しては、堆肥として使用			

する場合は、適切な量であれば害虫などの被害はないとのこと。また、味覚センサーを使用して、化学肥料でつくられた農産物と比較したときに「甘み」も高くなるだけでなく、実も大きくなる傾向にあったとのこと。味覚に関しては個人差も大きく、また明確な判断が難しいため、味覚センサーを利用して数値化することで肥料の評価をしていることは、とても重要であると感じた。

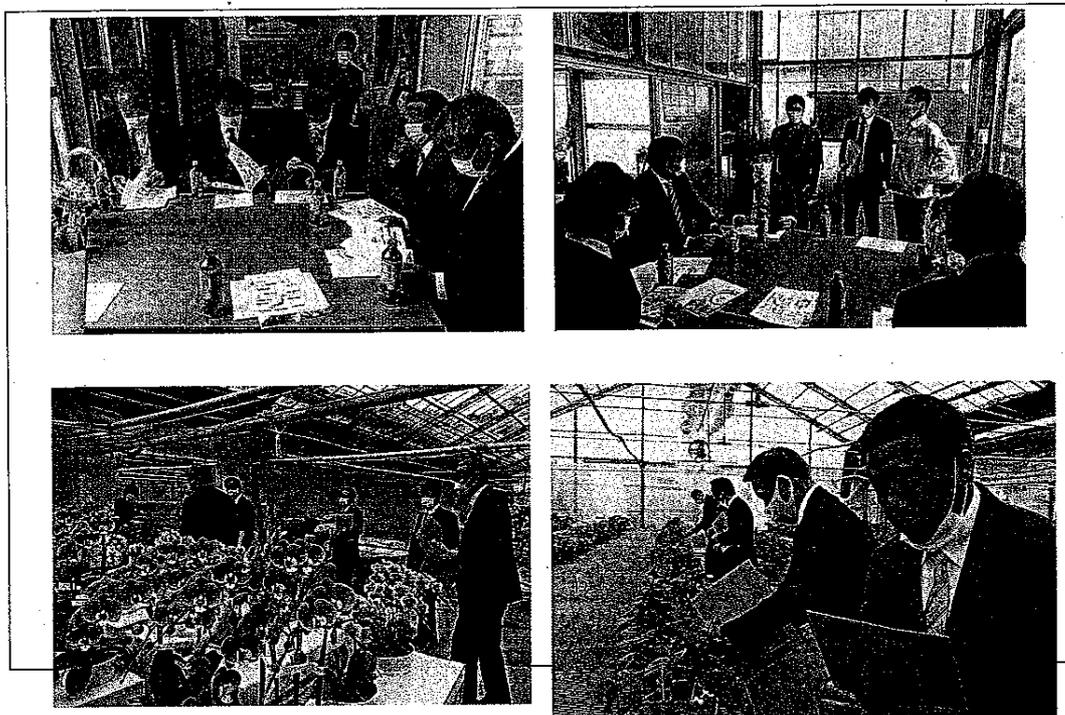
現在は様々な品種で試験をしており、どの作物や品種にあっているのかデータ化を進めている。いまのところ化学肥料と比較してマイナス面が大きいといったことはなく、新たにシャインマスカットの栽培を始めるとのことだった。

主な目的は、前述のとおり循環型農業であり、今まで廃棄物として多額の経費をかけて焼却処分していた汚泥の再利用にあるため、肥料として活用してもらうために、平成21年10月から1年間無料配布し、良さを知ってもらってから、平成22年より2円/kg（2,000円/t）で販売している。この金額設定により、生産された肥料の全量が販売できるようになったとのことであった。

宇佐市においては、イチゴだけでなく、ブドウをはじめとして果樹の栽培も盛んであることから肥料としての利用価値は高く感じた。また、化学肥料よりも実の大きさや甘さで有利であり、さらに圧倒的に廉価であることを考えると、農産物の売価が上がるのが期待できる一方で、コストを抑えることもでき、農家の収益増加へつながることが期待できる。

一方で、肥料の販売をすることにより、JA等の販売店に対しての配慮が必要となるが、東北地方ではJAが仕入れて販売する地域もあるとのことだった。また、全体量としては影響を与えるほどの量ではないため、他の肥料と共存していくことが十分にできるとのことだった。

現在、柳ヶ浦に新しく建設されている浄化センターで導入できれば、汚泥の焼却処分の費用や施設の建設費を抑えることができるだけでなく、市民への肥料の配布やフラワーロードでの活用など、市民サービス向上へとつながることが期待できると感じた。



視察日	3月28日(月曜日)	視察先	佐賀県佐賀市 佐賀市下水浄化センター
【視察事項】 佐賀市下水処理汚泥堆肥化施設		【選定理由】(市政との関連) ・四日市駅川浄化センター ・宇佐市環境衛生センター ・宇佐水再生プラザ	
【視察結果】(視察で得た情報、考察、提言すべき事項等)			
<p>○施設概要</p> <p>《佐賀市浄化センター》</p> <p>佐賀市の有明海側に位置する、佐賀市西与賀町大字高太郎にあり、敷地面積は約90,000㎡になる。昭和53年に完成し昭和53年11月より供用開始。計画汚水処理能力は81,500立方メートル/日で、処理方式は標準活性汚泥法が4池・担体投入標準活性汚泥法が3池となっている。</p> <p>現在の佐賀市の人口は約23万人で、下水管の総延長距離は1,100kmに及ぶ。当初の下水処理計画では71,000立方メートル/日だったが、省水・節水機器が広く使われるようになり、上水道の使用量も減り、あわせて下水処理量も減少した。現在は、53,000立方メートル/日程度となっている。</p> <p>《佐賀市下水汚泥堆肥化施設》</p> <p>佐賀市浄化センター内に位置し、敷地面積は約10,000㎡。平成20年12月に建設が始まり、平成21年9月に完成。建設事業費は7億2,400万円</p>			

で、公設民営方式である DBO 方式で建設された。処理能力は 30 t/日だが、下水量の減少から 25 t/日の処理を行っている。現在の運営期間は平成 21 年から令和 6 年 3 月末まで。

下水処理にかかる施設なので、運営会社が当該の PFI 事業以外の事業不振によりサービスの低下や事業中断することを避けるために、PFI 事業のために設置された SPC (Special Purpose Company : 特別目的会社) が、15 年間の運営を行っている。

佐賀市では、今まで施設内で焼却処分をしていたが、堆肥化することにより、年間で 2,000 万円のコストダウンと、CO₂排出量の削減が図られていた。また、下水処理施設内に汚泥堆肥化施設を建設することにより、国交省から 55%の補助金を受けることができ、建設費用の市負担分を抑制することができるとのこと。この補助金は、計画の認可変更で対応が可能のため、建設中の宇佐水再生プラザでも補助金の交付を受けることができるとのことであった。

また、下水処理の途中で発生する消化ガスを活用しガス発電を行うことで、施設内で使用する電量の約半分をまかなうことができている。

汚泥処理にかかるコスト低減を目的とするのであれば、現在の汚泥焼却にかかる費用がおおよそ 15,000 円/t~17,000 円/tなので、長期的な視点で考える必要がある。汚泥堆肥化施設でかかる費用は、人件費等の他で大きなものは、発酵素と汚泥のなかに空気を送り込むエアレーション施設、汚泥を入れ替えたりするための大型ホイールローダーだけであり、運用のコストは低い。

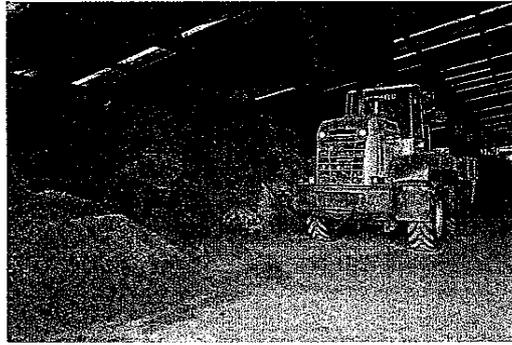
佐賀市では、1 億 5,000 万円/年かかっていた汚泥焼却費が、SPC への運営委託費 6,000 万円/年に軽減されていた。

下水汚泥の堆肥化にあたって重要なことは、生産された肥料が安定して消費されることである。そのために、共和化工では 5 つの取り組みを行っていた。

- ①農家との勉強会を通し、肥料の効果や特性、また失敗例を共有する。
- ②農家に受け入れられる品質。
- ③低価格で販売し、完売すること。※1000 t/年
- ④使用者目線で、写真とデータによる PR。※コスト削減と品質向上
- ⑤農家の生産から販売までをいっしょに見届ける。※入口から出口まで

国交省でも BISTRO 下水道として、肥料の国産化の一助となるように推進している。現在のウクライナ情勢から肥料の輸入が規制され、価格が高騰することなどを考えると、食糧自給率の向上のためにも必要性は高いと考える。

平成 27 年に、宇佐市の担当課が現地を視察しているとのことだったので、視察の結果、宇佐市でどのように判断したのか調査し、課題があれば共有していきたい。



- ※ 視察先が多い場合は、適宜複写して使用すること。
- 視察行程及び経費の明細を別紙に添付すること。
- 主要な関係資料、写真等を添付すること。

項目別領収書等一覧表

支出年度	令和 3 年度			
支出項目	研修費			No 1
整理番号	支出年月日	支出金額	使途及び支出内容	備 考
1	令和3年7月20日	3,550	全国若手市議会議員の会OB研修会	
合 計		3,550 円		

※項目ごとに支出年月日順にまとめ、整理番号を領収書に付記してください。

本紙に、項目ごとに整理した「領収書等貼付用紙」を添えてご提出ください。

按分した支出金額を記入する場合は、備考に(按分率 %)とご記入ください。

領収書等貼付用紙

項目	研修費	整理番号	①
金額	3,550円	備考	100%

振替払込金受領証・振替受付票

取扱年月日	03-07-20	取扱時刻	11:58	摘要	
取扱店番号	72121	処理通番	N031	被代行店番号	

請求種別

電話 信 払 込 び
 受取先 口座番号 10040 - 16943991
 受取人 おなまの全国若手市議会議員の会OB会

送金元 口座番号
 送金人 おなまのラジヤ コラジヤ

送金金額 *3,000 円 送金料金 *550 円 特殊取扱料金 円
 合計金額 *3,550 円

通知番号桁数 桁 払出明細番号 号 受入明細番号 1 号

ご依頼人おとこ

宇佐市大字住江
 635-156

- ご注意
 この受領証(受付票)は、お取扱いの証拠となるものですから大切に保管してください。
 1 口座番号の先頭の数字が「0」の場合は振替口座、「1」の場合は総合口座です。
 2 料金には消費税が含まれています。
 3

(任意) (印)

〒140-0001 千代田区丸の内1-2-1 千代田区丸の内1-2-1 千代田区丸の内1-2-1 (04-SQP)

[取扱店]

印紙税申告納
 付につき種町
 税務署承認済

ゆうちょ銀行

※ 領収書等に複数枚の領収書等を添付する場合は、同じ項目のものにしてください。

項目別領収書等一覧表

支出年度	令和 3 年度			
支出項目	資料作成費			No 1
整理番号	支出年月日	支出金額	使途及び支出内容	備 考
1	令和4年3月30日	214,115	光りの会広報誌	
合 計		214,115 円		

※項目ごとに支出年月日順にまとめ、整理番号を領収書に付記してください。

本紙に、項目ごとに整理した「領収書等貼付用紙」を添えてご提出ください。

按分した支出金額を記入する場合は、備考に(按分率 %)とご記入ください。

領収書等貼付用紙

項目	資料作成費	整理番号	①
金額	214,115円	備考	100%

領 収 証

令和 4 年 3 月 30 日

光の会 殿

¥	拾万	万	千	百	拾	円
	7	2	1	4	1	5

但し

上記金額有難く領収致しました。

明治印刷株式会社



代表取締役 坂本良

大分県宇佐市大字長洲 607

電話 0978 0135

FAX 0978 3268

※ 貼付する領収書等は、支出年月日、金額、但し書き（支出内容）、相手方、会派名が確認できるようにしてください。

この用紙に複数の領収書等を添付する場合は、同じ項目のものにしてください。